

◆学校教育目標：「いのち」を尊び、共に学び、共に輝き、生命力あふれて生きる「あかいつ子」の育成◆

令和3年度 赤井小学校 令和3年12月7日 NO,15

赤井小ゆるキャラ



# 校長室だより 笑顔



◆さくら児童会スローガン：協力し 笑顔あふれる あかいつ子◆ さくらだいこくん

## 伝統を受け継ぐ和太鼓活動！全校和太鼓発表会に向けて



久しぶりに大勢の前で演奏し、市外の方からも「すごい！」と歓声が揚がりました。



イベントの様子は12月7日18時～と12月9日9時～ラジオ石巻で放送予定

学習参観・懇談会（2日）へお越しいただきありがとうございました。感染予防を徹底してコロナ流行前の形に戻して実施したところ、たくさんの保護者の方が懇談会へご参加いただきました。感謝いたします。



左の写真上は市の産業祭（11/21）に出演した6年生です。演奏は「赤井いぶき太鼓」と「躍動」の2曲。左下2枚はオール赤井祭りの代替イベント（11/27）の出演の様子です。なんと八幡神社で演奏して、保護者のみならず、地域の方や保育所の子供たちからも演奏に大きな拍手をいただきました。

コロナ禍でも主催者の方が子供たちの出番を用意し、それに答える6年生。伝統を継承しながら地域に恩返しをする活動は、他では見られない本校の特別な教育だと改めて感じています。朝会では、「赤井いぶき太鼓」を振り返り、1月開催の「全校和太鼓発表会」の意欲を高める話をしました。



### 朝会 校長講話「赤井小の伝統～受け継ごう和太鼓～」 12月1日



おはようございます。今日は「赤井小の伝統～受け継ごう和太鼓～」についてお話をします。スクリーンを見て下さい。赤井小には、他の学校には無い、または特に力を入れている活動が5つあります。

- 1つ目は、6年生が演奏する「赤井いぶき太鼓」を中心に、全校で取り組む「和太鼓活動」。
- 2つ目は、赤井出身の偉人、大槻俊齋先生を学ぶ「俊齋学習」。
- 3つ目は、5年生が中心に取り組んでいる「田んぼの学校」。
- 4つ目は、4年生が中心に取り組んでいる「SDGs活動」。
- 5つ目は、全校で仲良しになる「たてわり活動」です。

5つの赤井小の特色と魅力のある活動をまとめて「アカイファイブ」と呼んでいます。

これまで「俊齋学習」と「SDGs活動」について校長から朝会でお話をしました。今日は「赤井いぶき太鼓」を取り上げます。



11月27日土曜日に八幡神社で6年生が赤井いぶき太鼓を演奏しました。コロナの流行でお祭りが無くなっていることから、赤井市民センターの皆さんが中心になりオンラインでお祭りが開催されました。赤井小からは赤井いぶき太鼓を是非披露をして赤井小の伝統ある和太鼓演奏で赤井地区に元気と希望を送って欲しいと頼まれました。市民センターの皆さんから言われた「伝統ある赤井小の和太鼓活動は地域に元気と希望を与える」という言葉に校長先生はうれしくなりました。

- |   |                        |  |
|---|------------------------|--|
| 1 | 赤井いぶき太鼓(6年生) 和太鼓活動(全校) |  |
| 2 | 俊齋学習 (発表6年生・道徳全校)      |  |
| 3 | 田んぼの学校 (5年生)           |  |
| 4 | SDGs活動 (4年生)           |  |
| 5 | たてわり活動(全校)             |  |

「伝統」とは、古くからの受け継がれたしきたりや行事など、その地域に無くてはならない大切なものです。つまり、赤井いぶき太鼓は、赤井小だけではなく赤井地区の方々に愛され希望を与える伝統になっているのです。

では、赤井小の和太鼓活動について改めておさらいをします。



### 1 和太鼓活動はいつから始まったのか？

赤井いぶき太鼓が始まった（創設）のは平成6年のことでした。きっかけは赤井小創立120周年記念事業として「先輩の方々が築き上げた校風を受け継ぐとともに、新しい伝統を目指して、感性豊かなあかいつ子を育てていくため」、そして「和太鼓は豊かな心を育てることができる」ことから始まりました。

### 2 和太鼓活動は誰が始めたのか？

当時の父母教師会渥美会長と当時の小野寺校長先生、和太鼓の指導者である関先生が中心となり、赤井小学校父母教師会が活動して、赤井地区全体にその輪が広がりはじめました。

### 3 和太鼓はどのように準備をしたのか？

父母教師会のお父さんやお母さんが地区や会社を回ってお金を集めて回りました。その寄付で集まったお金で和太鼓7台、締太鼓6台やバチ、衣装70組などを準備しました。600万円ほどのお金が集まりました。

### 4 赤井いぶき太鼓は誰が作曲したのか？

平成6年からあかいつ子を指導していただいている関義徳先生です。この写真が平成6年の1月に完成した赤井いぶき太鼓の楽譜の原本です。大切に校長室に保存されています。

### 5 和太鼓活動・赤井いぶき太鼓はなぜ伝統と呼ばれるのか？

一つ目の理由を話します。伝統とは古くから伝わることと話しました。現在の6年生は赤井いぶき太鼓29代目で、今の5年生は記念すべき30代目になります。もう30年近く、6年生から5年生に引き継がれて、途絶えずに受け継がれてきたこと。また、1年生から全校が和太鼓の演奏していることも伝統につながっています。

二つ目は、赤井の各地区の夏まつりや東松島のお祭りや行事など、学校の外でも数多く演奏をして地域の方に認められていること。

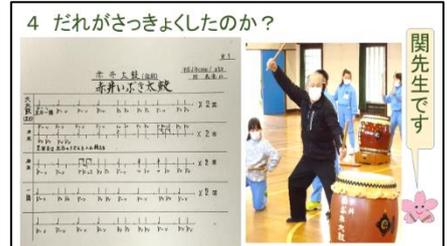
三つ目は、代々の6年生の赤井いぶき太鼓の演奏が聞く人々の心に強く印象を与えたり、胸を打ったり、感動を与えたりする、魂を込めた演奏が続いていることです。このことで地域や市などいろいろなところから、是非とも演奏を披露して欲しいと言われ続けてきました。

今年は2020東京オリンピックの聖火リレーでも、心打つ演奏をして会場の市民の方から大きな拍手をいただきました。これは日本で開催された50年ぶりの夏季オリンピック開催における貴重な体験で、伝統ある赤井いぶき太鼓だからこそ、歓迎の演奏に選ばれて披露しました。

その他、30年近く使って壊れてきた太鼓を直したり、保護者の方や保存会の方が、活動をサポートしてくれたり、まだまだ、いろいろな理由があります。それだけ、多くの先輩やお父さん、お母さん、そして地域の方が関わって、和太鼓活動を育ててきたからです。



さあ、12月から全校で和太鼓活動が始まります。和太鼓は全員が同じ楽器を演奏します。つまり、分け隔て無く、誰もが1番です。それぞれの1番の音色を繋ぎ、心をつなげて赤井小学校の特色ある教育「和太鼓活動」に取り組んで下さい。そして1月にある赤井いぶき太鼓をはじめとした和太鼓発表会にむけて、一人一人そして学級で目標を立てて取り組んで下さい。今回のチャレンジはクラスが一つになり取り組むチャレンジです。12月も感染予防に努めて、勉強に、運動に笑顔で頑張りましょう。



地域や市などの校外での発表は、より演奏が上手になり、態度もたくましさを増します。「自分たちはできる」と自己肯定感もアップ！